

安全データシート

改訂日: 2025 年 4 月 1 日

Rev.5

1 化学品及び会社情報

【化学品の名称】

製品名（製品番号） : 尿用標準液 L（A&T）（MS009900）

シリーズ : AU シリーズ

【提供者の情報】

会社名 : ベックマン・コールター株式会社

住所 : 〒135-0063 東京都江東区有明三丁目 5 番 7 号 TOC 有明ウエストタワー

担当部門 : 品質・薬事統括部門

電話番号 : 0120-566-730

2 危険有害性の要約

GHS 分類 : 健康に対する有害性

: 発がん性 区分1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

: H350 発がんのおそれあり

注意書き

【安全対策】

: 使用前にラベルをよく読むこと

: 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと

: 保護手袋／保護眼鏡／保護衣／保護面を着用すること

【応急措置】

: ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当を受けること

【保管】

: 容器を密閉して保管すること

【廃棄】

: 内容物／容器を市区都道府県の規則に従って廃棄すること

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分 : 混合物

成分情報

化学名	化学式	CAS 番号	含有量	官報公示 整理番号
ホルムアルデヒド	CH ₂ O	50-00-0	0.10 w/v%	化審法化学物質 (2) -482

安全データシート

製品名:尿用標準液 L (A&T)

製品番号:MS009900

Rev.5

4 応急措置

吸入した場合	: 呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
皮膚についた場合	: 多量の水と石鹸で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 口の中を洗浄し、多量の水を飲ませること。異常があれば医師の手当てを受けること。
予想される急性症状及び 遅発性症状	
・ 急性症状	: 咳、息苦しさ、頭痛、吐き気、催涙
・ 遅発性症状	: 喘息様症状、肺水腫

5 火災時の措置

適切な消火剤	: 製品としては、水溶液のためほとんど燃えないが、ホルムアルデヒドの消火剤として、粉末消火剤、二酸化炭素、散水がある。
使ってはならない消火剤	: 知見なし
特有の危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは毒性のガス及び煙を発生するおそれがある。
特有の消火方法	: 消火活動は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いること。
消火を行う者の保護	: 空気呼吸器など適切な保護具を着用すること。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	: 作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けること。 換気をよくして、蒸気の吸入を避けること。
環境に対する注意事項	: 河川等に排出されないように注意すること。
封じ込め及び浄化の方法	: 危険でなければ漏れを止めること。
回収・中和などの浄化方法 及び機材	: 漏洩した製品を布切れに吸収させて、密閉できる容器に回収すること。 汚染された廃棄物の処理にあたっては、該当する法規、条例、規定等に従って適切に処理すること。

安全データシート

製品名:尿用標準液 L (A&T)

製品番号:MS009900

Rev.5

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項

- ・ 技術的対策 : 作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避けること。
- ・ 局所排気・全体換気 : (8. ばく露防止及び保護措置)に記載の局所排気、全体換気を行う。
- ・ 安全取扱い注意事項 : 換気の良い区域で使用する。
液の漏洩は防止すること。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
取扱い後は、手を洗うこと。
- ・ 接触回避 : (10. 安定性及び反応性の項を参照)

保管上の注意事項

- ・ 技術的対策 : 保管場所の床は、床面に水が浸入しない、又は浸透しない構造が望ましい。
- ・ 保管条件 : 2~35℃で、容器を密閉して換気の良いところで保管すること。
- ・ 混触禁止物質 : (10. 安定性及び反応性の項を参照)
- ・ 容器包装材料 : 包装、容器の規制はないが、密閉式の破損しないものに入れること。

特定の最終用途

: 追加の関連情報なし

8 ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度 : データなし
- 設備対策 : 特別な換気要求事項はない。
- 保護具
- 呼吸器の保護具 : 換気が十分でない場合には、適切な呼吸用の保護具を着用すること。
- 手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。
- 眼の保護具 : 適切な保護眼鏡を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。
- 衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

9 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体	融点・凝固点	: データなし
色	: 無色透明	沸点又は初留点及び沸点	: データなし
透明度	: データなし	範囲	
臭い	: データなし	溶解度	: 水と自由に混和する
pH	: データなし		
密度及び／又は相対密度	: データなし		

10 安定性及び反応性

- 安定性 : 知見なし
- 危険有害反応可能性 : 知見なし
- 避けるべき条件 : 加熱昇温
- 混触危険物質 : 知見なし
- 危険有害な分解生成物 : 知見なし

安全データシート

製品名:尿用標準液 L (A&T)

製品番号: MS009900

Rev.5

11 有害性情報

急性毒性	: 経口 以下の区分の急性毒性（経口）の物質を含む。 区分 4 (605 mg/kg) : ホルムアルデヒド これより、混合物の急性毒性（経口）推定値 ATEmix > 500,000 mg/kg が算出される。（JIS 分類による） 混合物として急性毒性（経口）区分外に分類される。 : 経皮 以下の区分の急性毒性（経皮）の物質を含む。 区分 3 (270 mg/kg) : ホルムアルデヒド これより、混合物の急性毒性（経皮）推定値 ATEmix > 200,000 mg/kg が算出される。（JIS 分類による） 混合物として急性毒性（経皮）区分外に分類される。 : ガス 以下の区分の急性毒性（吸入：ガス）の物質を含む。 区分 2 (480 ppm) : ホルムアルデヒド これより、混合物の急性毒性（吸入：ガス）推定値 ATEmix > 400,000 ppm が算出される。（JIS 分類による） 混合物として急性毒性（吸入：ガス）区分外に分類される。
皮膚腐食性／刺激性	: 以下の区分の皮膚刺激性の物質を含む。 区分 2 ; ホルムアルデヒド (0.5 w/v%未満) 混合物として皮膚腐食性／刺激性区分外に分類される。
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	: 以下の区分の眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性の物質を含む。 区分 2A ; ホルムアルデヒド (0.5 w/v%未満) 混合物として重篤な損傷性／眼刺激性区分外に分類される。
呼吸器感作性又は皮膚感 作性呼吸器感作性	: 以下の区分の呼吸器感作性の物質を含む。 区分 1 ; ホルムアルデヒド (0.5 w/v%未満) 混合物として呼吸器感作性は区分に該当しない。
皮膚感作性	: 以下の区分の皮膚感作性の物質を含む。 区分 1 ; ホルムアルデヒド (0.5 w/v%未満) 混合物として皮膚感作性は区分に該当しない。
生殖細胞変異原性	: 以下の区分の生殖細胞変異原性の物質を含む。 区分 2 ; ホルムアルデヒド (0.5 w/v%未満) 混合物として生殖細胞変異原性は区分外に分類される。
発がん性	: 以下の区分の発がん性の物質を含む。 区分 1A ; ホルムアルデヒド (0.5 w/v%未満) 混合物として発がん性は区分 1 に分類される。 使用前にラベルをよく読むこと。 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 保護眼鏡／保護面を着用すること。
生殖毒性	: 混合物として生殖毒性は分類できない。
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	: 以下の区分の標的臓器／全身毒性（単回ばく露）の物質を含む。 区分 1 (神経系、呼吸器) ; ホルムアルデヒド (0.5 w/v%未満) 混合物として標的臓器／全身毒性（単回ばく露）は区分外に分類される。
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	: 以下の区分の標的臓器／全身毒性（反復ばく露）の物質を含む。 区分 1 (呼吸器、中枢神経系) ; ホルムアルデヒド (0.5 w/v%未満) 混合物として標的臓器／全身毒性（反復ばく露）は区分外に分類される。
誤えん有害性	: 混合物として誤えん有害性は分類できない。

安全データシート

製品名:尿用標準液 L (A&T)

製品番号:MS009900

Rev.5

12 環境影響情報

生体毒性	: 当該物質の主な水生環境有害性（急性）成分 毒性区分2；ホルムアルデヒド（0.5 w/v%未満）を0.5として計算。M：毒性乗率 急性3（ $M \times 100 \times \text{急性1}$ ）+（ $10 \times \text{急性2}$ ）+急性3 =（ 0×100 ）+（ 0.5×10 ）+（0）=5.0%<25% →急性3には区分されない。 混合物は、水生環境有害性区分外に分類される（JIS 分類による）。
残留性・分解性	: 混合物としてのデータがない。
生体蓄積	: 混合物としてのデータがない。

13 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄物の処理にあたっては、該当する法規、条例、規定等に従って適切に処理すること。
汚染容器及び包装	: 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14 輸送上の注意

特別な安全対策	: 運搬に際しては内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷が生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
---------	--

15 適用法令

毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	: 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条、施行令第18条第2号）（ホルムアルデヒド）、 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2第2号）（ホルムアルデヒド）
化学物質管理促進法 （PRTR 法）	: 特定第一種指定化学物質（1-464号）（ホルムアルデヒド）

16 その他の情報

引用文献	GHS 分類は JIS Z7252（2019）、JIS Z7253（2019）に準拠しています。*JIS：日本産業規格
改訂日	2025 年 4 月 1 日（作成日：2015 年 12 月 1 日）
注意	ベックマン・コールター社はここに記載した内容について有効かつ正確であると考えていますが、有効性、正確性あるいは通用性を保証、もしくは明言するものではありません。当社はこの内容又は製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任を負うものではありません。また、危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則に規制されることがあります。 詳細については最寄りのベックマン・コールター株式会社営業所までお問い合わせください。